

◆中級では4回以上の出席と、4回以上の症例報告（小学校6年生までの子どもに「大師流小児鍼」だけで施術した症例）提出が修了要件です。症例報告を介し、小児臨床を充実させましょう！

※ 一度に2本以上提出した場合も、1回分としてカウントされます。

※ 症例報告の提出が難しい方（学生など）は、「保護者の説得」、「子どもとの接し方」等、子どもに触れることによって得た事を症例報告に代えて提出しても構いません。その場合は症例報告が作成できない理由や反省・改善点などもご記載ください。

<提出・返却方法>

①ワードかテキスト形式で作成したデータを、**手合わせ会の1週間前まで**に大師流小児はりの会関東事務局（info@daishiryu.com）まで、メール添付で提出。添付できない場合は、メール本文に直接記入したもので可。件名は「**中級第〇回提出症例報告@（氏名）**」としてください。

②提出された症例報告はスタッフが講評を入れて返却します。

- ・ **手合わせ会の2週間前までに提出した場合は、手合わせ会当日に返却。**
- ・ 2週間前を過ぎた場合は、次回手合わせ会で返却。
- ・ 1週間前を過ぎた場合は、修了要件としてカウントされません。

<症例報告の公表>

提出された症例報告は手合わせ会などで発表する場合があります。また、当会ホームページなどに掲載、または、雑誌や各地の鍼灸師会に投稿する場合があります。掲載や投稿に不都合がある場合は、提出時にその旨を明記いただければ、手合わせ会以外では公表しません。

<症例報告の書き方>

学会発表の症例報告では「目的」「症例」「結果（経過）」「考察」「結語」といった項目を立てて書く形式が通例です。

学会発表用の症例報告の書き方は、学会 HP に掲載されているので、参考にしてください。

皆さんは学会発表形式でもかまいませんし、以下の項目を参考に作成してもかまいません。「わかりやすい小児鍼の実際」の症例も参考にしてみてください。

文字数は 1,500 字以内にまとめてください。

①**（必須！）**題名・提出者氏名 ②**（必須！）**患者名（＝イニシャルで表記）・性別・年齢・初診日

③主訴 ④現病歴

⑤その他、必要と思われる情報

（主訴以外の愁訴、家族構成、家族歴、出産状況・出生時体重、栄養＜母乳か人工乳か＞・離乳の時期など）

⑥治療内容、第2診以降の経過、結果

- ・ 所見（身体所見、どんな子か＜性格、特徴、施術時の様子・表情など＞、どんな親か、腹部打診の所見、皮膚の硬さ柔らかさ、過緊張部位など）
- ・ 施術部位、ドーゼ
- ・ 施術後の子どもの様子・所見・症状などの変化、保護者との会話内容など

⑦考察・感想